

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第1回相模原市住宅審議会	
事務局 (担当課)	住宅課 電話042-769-8256 (直通)	
開催日時	令和5年9月25日(月)	
出席者	委員	5人(別紙のとおり)
	その他	0人
	事務局	4人(住宅課長、総括副主幹、他2名)
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	
公開不可・一部不可の場合は、その理由		
会議次第	(1)あいさつ (2)議題 令和5年11月市営住宅入居者募集にかかる選考方法について(諮問・答申)	

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### (1) あいさつ

事務局（住宅課長）より、住宅審議委員へあいさつを行った。

### (2) 議題

「令和5年11月市営住宅入居者募集にかかる選考方法について（諮問・答申）」

事務局より、議題について、市営住宅入居者募集の選考方法、募集する住宅等の内容の説明を行った。質疑応答の後、委員全員の承認のもと原案のとおりに答申することを決定した。

#### 【主な質疑】

(佐藤委員) 令和5年5月募集と内容の変更をしているところはあるか。

(事務局) 内容の変更はない。

(小林委員) 選考方式について、以前は困窮度評価方式を採用していたはずだが、どういった理由で抽選方式となっているのか。

(事務局) 困窮度評価方式を行っていたことは事実である。しかし、明確な困窮の基準がないため、人によって格差が出てしまい、一律で審査を行うことが難しい部分がある。また、困窮度という説明が難しい中で、落選者から審査に関する問い合わせも上がっている一方、抽選方式については、公開で抽選を行うこともあり、公平性が明確であること。また、市営住宅に申込みれる方は一律住宅に困窮している中では、どなたでも分け隔てなく申込が可能であるという観点から今回の募集では抽選方式を採用した。

(小林委員) 資料にある通り、抽選方式でも障害者世帯や子育て世帯等については、優遇措置で配慮できているということによいか。

(事務局) はい。

## 住宅審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	北川 春恵	相模原市民生委員児童委員協議会	会 長	出席
2	石井 敏夫	相模原市民生委員児童委員協議会		欠席
3	砂村 久三子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
4	佐藤 金男	相模原市自治会連合会		出席
5	小林 輝明	相模原市社会福祉協議会		出席
6	松元 定示	神奈川県宅地建物取引業協会	職務代理	出席